

道道西野真駒内清田線（こばやし峠）トンネル新設工事
第2回 掘削土砂取扱検討委員会

議事要旨

1 日時 平成24年5月21日（月）11:30～12:30

2 場所 札幌市役所本庁舎12階 第1号・第2号会議室

3 出席者

(1) 委員

委員長 五十嵐 敏文 北海道大学大学院工学研究院環境循環システム部門
地圏物質移動学研究室 教授

委員 伊東 佳彦 独立行政法人土木研究所寒地土木研究所
寒地基礎技術研究グループ防災地質チーム 上席研究員

委員 遠藤 祐司 地方独立行政法人北海道立総合研究機構環境・地質研究本部
地質研究所地域地質部地質情報グループ 研究主幹

(2) 札幌市

事務局

札幌市建設局土木部

天野 博己（道路工事担当部長）

伊藤 仁（工事課長）

天野 周治（道路課計画担当課長）

工事課、道路課

オブザーバー

札幌市環境局環境都市推進部 三國 直樹（環境対策課水質係長※）

※環境対策課長代理

4 議題

掘削土砂取扱いに関する今後の進め方について

5 配布資料

(1) 次第

(2) 出席者名簿

(3) 座席表

(4) 資料 掘削土砂取扱いに関する今後の進め方について

6 議事概要

(1) 開会（開会挨拶 事務局 天野道路工事担当部長）

(2) 議題 掘削土砂取扱いに関する今後の進め方について

- 事務局から、配布資料を用いて地域説明会の開催結果及び今後の進め方（案）について説明し、今後は具体的な土砂の対策工法を詰めていきたい考えであることを説明。
- 地域説明会の開催結果についての委員からの意見は次のとおり。
 - ・ 搬出先の決定に際しては、住民の方々から課題として提案されたことについて項目ごとに整理し、市の考えを具体的に示す必要があるのではないか。
 - ・ 住民の方々から出された意見として運搬経路の課題があったが、どのような対策ができるのかどうか、具体的に示す必要があるのではないか。
- 今後、整理が必要な事項についての委員からの意見は次のとおり。
 - ・ 基準値を超える土砂を減量することが可能なかどうかを再度整理する必要があるのではないか。
 - ・ 継続的に地下水位を観測することが必要ではないか。
 - ・ 地表水（素掘り排水）の水質を確認する必要があるのではないか。
 - ・ 河川断面が小さい場所については、対策が必要ではないか。
 - ・ 採石場跡地東側（下流側）の横断面について、安山岩の上面深度に関する既存資料等による確認が必要ではないか。
- 現場視察をした委員の感想としては次のとおり。
 - ・ 堆積する場所としては良い地形になっているのではないかと印象を抱いた。
 - ・ 現状の採石場跡地について、環境の復元や跡地利用をもう少し市で検討できないだろうか。
- 第3回検討委員会は、追加調査や追加検討を行ったうえで、具体的な工法等を議論することになった。

(3) 閉会